



大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2階
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：大越 将司 幹事：星野 実
- 広報・公共イメージ向上委員会
委員長 小倉 光夫・会報担当 石田 英世

2024年1月17日(水)
第25巻 第25号

通巻第1055

<http://www.oamirotary.com>
E-mai : rc@oamirotary.com



世界に希望を生み出そう

本日の例会

- 点 鐘 会長 大越 将司
- ソング それでこそロータリー
- 会長挨拶 会長 大越 将司
- 幹事報告 幹事 星野 実
- プログラム
- 卓話 大橋 榮一 様 「めでたい話」

ニコニコBOX

- 大越会長
本年もどうぞ宜しくお願いします。
- 星野幹事
今年も宜しくお願い致します。
- 小倉 光夫 会員
誕生日、ありがとうございます。
- 石田 英世 会員
誕生日、ありがとうございます。

例会日	1月10日	12月13日
会員数	30	30
出席	17	17
欠席	13	13
M U	0	0
免除	8	6
出席率	83.33%	76.67%

会長挨拶

大越 将司 会長



みなさん、こんにちは。
令和6年最初の例会となります、本年もどうぞよろしくお願い致します。

さてこの年末年始は、悲しい出来事が続きました。まず年末に当クラブ会員・山岸様の奥様の訃報がございました。享年70歳ということで、まだお若く大変残念です。謹んでお悔やみ申し上げます。

そしてみなさまご存じの通り、元旦1月1日には、「能登半島地震」が発生しました。何度聞いても嫌な「緊急地震速報」のけたたましい音と、テレビ・アナウンサーが呼びかける津波避難の声。お正月気分も一掃されてしまいました。13年前の東日本大震災を思い出した方も多かったのではないのでしょうか。

今回の地震で亡くなられた方の数は、昨日の時点で202名。安否不明の方も102名とまだまだ先が見えません。被災された方およびその関係者の方々へ、心からお見舞い申し上げます。

さて、皆様は「DWAT（ディーワット）」という言葉をご存じでしょうか。大規模災害発生時に一人でも多くの命を救うために機動的に活動する医療チーム「DMAT（ディーマット）」が有名です。DWATはそれの福祉版として組織されたものことで、災害発生時に避難所で生活する、高齢者・子ども・障害者といった要配慮者に対して生活機能の低下、介護度の重度化等2次被害が起こらないよう、福祉的な支援を行うチームのことです。1チーム5名程度で編成され、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、看護師、理学療法士、精神保健福祉士、保育士等の専門職で構成されています。今回の能登半島地震でも、群馬・静岡・京都といった県がすでに先遣隊で派遣されているようです。

DWATメンバーは、一定の講習会を受けた社会福祉施設の職員が、各都道府県社協に登録される仕組みとなっており、実は私も登録されています。万が一派遣要請が来た際には、例会をお休みすることもあるかもしれませんが、「職業奉仕」ということで、その際はご了承ください。

被災地のことを思うと、悲しい気持ちになります。しかし被災地にいない我々が為すべきことは、いち職業人として日常を愚直に継続し、ロータリアンとして出来ることを模索することに尽きるのではないかと思います。

一刻も早い被災地の復興を祈願し、私の会長挨拶といたします。

①ひすいかい子ども食堂への食材支援
第3回開催 令和6年1月28日(日)
協賛金(3万)

②My ROTARY 登録状況
1/10 現在 登録者(14名)

③半期会計報告1月24日(水)
(綿貫会計より)

④令和6年能登半島地震支援金について
(被災地域である第2610地区(石川県・富山県)への支援金です。)
支援金は、地区が窓口となり取り纏めて第2610地区へ送金

1月24日(水)送金予定
クラブより5万+個人寄付

セミナー会議及び今後の行事予定

●23-24年度 第4回 第7グループ会長幹事会(ホスト:大網RC)

日時:2024年1月26日(金) 18:00
会場:山中荘
会費:1人/10,000円 4名参加
出席者:大越会長、星野幹事
受付:小高会員・石田会員

●補助金管理セミナー(ZOOM)

日時:2024年2月3日(土)
点鐘:13:00 終了予定:16:15
登録料:無料
出席者:大越会長、星野幹事、小高会員
追加 石田会員 計4名

●第7グループ Intercity Meeting

日時:2024年2月20日(火)
登録開始 12:30
会場:九十九里ヴィラ そとぼう
千葉県いすみ市岬町和泉 4427-1
TEL:0470-87-7111
費用:令和6年1月1日付在籍会員数で1人5000円
大網RC @5,000円×30名=150,000円
べ切 参加実数報告 1月20日(土)迄
登録料 1月31日(水)迄

ひすいかい子ども食堂 寄付金贈呈



石田会長エレクトより手渡されました。



12月誕生日 小倉光夫会員



1月誕生日 堀本孝雄会員、石田英世会員、西岡毅会員
清宮建治会員、山岸健一会員

卓 話

大網白里市郷土史研究会副会長 八角 俊 様



「白里地区における元禄大津波の状況」

私の家(南今泉、字「北新地」)は海岸から約1kmの所にあり、「地震が来たら直ぐに高い所に逃げろ」と言い伝えがある。元禄16年(1703)11月23日、深夜発生した元禄大津波である。震源地は房総半島沖、相模トラフでありM8.2の巨大

地震であった。

当時の海岸線は現在のバス停「白里海岸」辺りとなり海岸から約300m位手前で、波の高さは2.5m前後、津波は約700m位まで陸地に押し寄せ、甚大な被害を受けたとされる。九十九里町、栗生の飯高家(大網元)文書によれば津波は3回押し寄せ、大きな轟音がしたと記してある。また11月23日は旧暦で現在の12月31日に当り、厳寒の候で凍死した者が多かった記してあった。

南今泉、字「大村」の近くに赤城神社があり、その中の小高い丘(耕地整理のため現在なし)に避難した人は助かったと言い伝えがあり現在、石碑が建っている。海岸から1km位の所にあった本泰寺(当時は準県道「さくら金属工場」付近)は驚いて現在の白里小学校の所へ移転したと言われ、四天木村の要行寺も同様に字「殿里」から現在地へ移転したそうである。

要行寺の親寺で茂原の鷲山寺に供養塔があり、四天木村では250名の死亡を記してあり、北今泉村には等覚寺の墓地に63名が死亡したと供養塔に刻んであるが、南今泉村には何の記録もない。しかし、私の祖父の生家(花澤茂左衛門)から元禄の津波で亡くなった人の位牌を発見した。その後、津波の恐怖から100m位、丘の方へ転居したとの言い伝えがある。私の入地(北新地)では「二十日講」(現在は中止)という葬式の組の食事会を1月、5月、9月、11月の20日に行っていたのは、当初、津波で亡くなった人の供養をしていたのではないかと私は思っている。

当時の北今泉村の推定人口が450人位で63名の死亡であるから、14%となり、南今泉村の推定人口は550人位であるから死亡者は77人と推定した。

北今泉村の等覚寺に大網元の上代家の墓所があり、海岸で働く漁業関係者が多く亡くなったため、上代平左衛門が供養塔を建てたものと私は思っている。



郷土史研究家、古山豊氏が元禄地震被害の公的記録(柳沢吉保の「楽只堂年録」)を近年発見し、南北今泉村の溺死者が139人である事が分かった。この事から南今泉村は76人と分かり、私の推測した人数77人とあまり差がなかった。

この巨大地震で江戸も大被害を受け、元号を「元禄」から「宝永」と変更するが、わずか4年後の宝永4年(1707)に南海沖大地震(M8.4)が起き、その直後、富士山が噴火している。「天災は忘れた頃にやって来る」と著名な科学者が言っているように我々は常に覚悟をしておかなければならない。